事業評価調書（新規要求公共事業）

＜様式1＞

評価対象事業名	国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト推進事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	9	快適で安全・安心な暮らしをつくる
	施策	(7)	人と自然が共生する地域づくり
	事業群	③	豊な自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくり

作成年月日	令　和　2　年　11　月　25　日
事業所管	県民生活環境　部　自然環境　課 自然資源活用　班　(内線)　2385
課（室）長名	石川拓哉

1．事業の概要

事業概要	＜事業の主な実施内容＞ 歩道・園地（広場）の整備
	＜国の主な採択基準＞ 国立公園において行われる整備事業（国立公園事業として実施するものに限る。）であって、次に掲げるもの。 道路、広場、園地、休憩所、野営場、駐車場、公衆便所、博物展示施設　等 上記の事業にあたり、次の⑴及び⑵に掲げるいずれか又は両方の対策を講じることを目的とした施設の整備であること。 ⑴ 公園利用者の安全確保を図るための利用施設の老朽化対策に資するもの ⑵ 訪日外国人の快適な公園利用に資するもの

＜負担区分（%）＞

国	県	地元	条件
50	50	0	

＜県費の継ぎ足し＞

□有　☑無

2．新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	雲仙温泉地区は普賢岳噴火によるダメージに加え、団体旅行の減少、個人旅行のニーズに対する対応の遅れ等から観光客の減少が続いており、その結果、温泉街としての賑わいの消失、街並み景観の悪化、人口減少・人材不足等の多くの課題に直面している。 雲仙市観光戦略（R2.6.30策定）はこれらの課題を解決するための具体的な目標やそれを実現するための戦略的かつ具体的な取組み、持続可能な推進体制の整備等を示したもので、今後のワーキングでさらに実効性を高めていくこととしている。 県においては各事業者による温泉街周辺の地域資源を活用したプログラムや地域ゾーニングと連動し、既存施設の再整備等を通じて雲仙温泉地区の上質化を実施する。 事業評価については、市観光戦略において雲仙温泉街全体の収益性を高めることを達成目標（KGI）としていることから、これと連動し、観光客一人当たりの消費額を評価の視点として本事業に取り組む。

3．令和3年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	絹笠山歩道	雲仙市
2	おしどりの池（別所ダム）周回歩道・広場	雲仙市
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和３年度新規要求箇所評価調書（国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト）

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了予定年度	事業概要 (上段：全体、下段：R3)	事業費（単位：千円）（上段：全体、下段：R3） 事業費	国費	県費 県債	県費 一般財源	市町村費等	新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合評価
きぬがさやまほどう 絹笠山歩道	雲仙市	県	R3	歩道改修L=2,300m、展望デッキ撤去新設1箇所、ベンチ新設6基、e-bike駐輪場1箇所、通景伐採	50,000	25,000	22,500	2,500	0	市観光戦略に基づき、観光客の増加、滞在時間の延長、リピート率の向上を目的に地元団体等が実施する各種コンテンツと連携し、観光客へ「歩く楽しみ」や「癒しと健康」を提供する。 絹笠山ではノルディックウォークや星空ツアー等が計画されており、老朽化した歩道や山頂施設の再整備等を実施することにより、体験プログラムの実施に寄与する。	市観光戦略において、視点場として登山口の白雲の池と合わせて再整備が計画されている。 また、山頂の整備は地域住民からの要望も高い。	
				同上	50,000	25,000	22,500	2,500	0	費用便益比　B/C=1.58＞1.00	負担割合　国：県：地元＝50%：50%：0%	
おしどりのいけしゅうかいほどう・ひろば おしどりの池周回歩道・広場	雲仙市	県	R3	歩道改修L=1,200m、休憩舎新設1棟、ベンチ設置10基、標識3基、通景伐採	53,800	26,900	24,100	2,800	0	市観光戦略では、おしどりの池周辺を企業や大学等と連携したコワーキングスペースやサテライトオフィス等を設置し新たな人の流れや付加価値の創造推進地域に位置付けており、一部は既に動き始めている。 このコワーキングスペース等の利用客が、ワーケーションで利用するための歩道や園地施設等を整備することにより、企業等の進出しやすい環境づくりに寄与する。	市観光戦略において、水辺ゾーン（親水エリア）としてゾーニングされ、関係者において整備するよう計画されている。 また、観光客（宿泊客）や地域住民の散策路としての利用も多い。	
				同上	53,800	26,900	24,100	2,800	0	費用便益比　B/C=1.82＞1.00	負担割合　国：県：地元＝50%：50%：0%	
合計					103,800	51,900	46,600	5,300	0			
					103,800	51,900	46,600	5,300	0			